



第3回地域・まちづくり委員会を開催しました！

2024年9月27日（金）に、開催した第3回地域・まちづくり委員会ではパルシステム千葉「にじいろパル松戸六実」を訪問し、「サービス付き高齢者向け住宅における地域連携と松戸市との取り組み」について生活協同組合パルシステム千葉 介護事業部木村友秀部長にお話頂きました。



はじめに、昨年の千葉県生協連主催の政策検討会のテーマの「松戸市における重層的支援体制整備事業」と、実際に松戸市内13か所でおこなわれている「多世代まるごとの居場所づくり まつどDEつながるステーション」について詳しく話していただきました。

続いて「にじいろパル松戸六実」の施設内に併設されている「地域交流スペース」の目指す役割についてご説明いただきました。「地域交流スペース」は地域密着型の交流スペースとして2021年8月に開設されました。パルシステム千葉は、2022年4月より「まつどDEつながるステーション六実六高台地区」の実行委員メンバーとして参加協力をしているため、当該地区の巡回型居場所として、認知症予防体操や駐車場での野菜の即売会などにも利用されています。地域の方々とおこなう地域づくりで重要かつ大切にしている点として、地域住民主体の取組に法人として関わるので、できるだけ住民目線をもちながら参加をしていくこと、また先行事例などはその地域での歴史や関係性などへの留意が必要なことなどを挙げられました。また必ずしも地域のニーズとパル千葉が想定するものが



にじいろパル松戸六実

重ならない場合もあるなどの課題もあるそうです。

木村さんが2年近く参加した実行委員会の経験から、地域交流スペースを使った地域の課題解決のための関わり方や、地域での固定型居場所や巡回型居場所の改善点など気づいたことについていろいろお話してくださいました。

参加者からは、「実行委員会の中での松戸市の役割について」「固定型の居場所の企画についての発信方法について」「地域交流スペースの開放状況について」等の質問がありました。この後サ高住の施設の中を見学させていただきました。

以上